

# 佐倉の第九

～第2回 市民の第九演奏会～



第1回市民の第九演奏会

2000平成12年12月24日14:00時開演

主催・会場 **佐倉市民音楽ホール**

協賛 佐倉合唱連盟

# プログラム

ルードヴィッヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827)

交響曲 第9番 二短調

作品125「合唱付」

(ベーレンライター社新版使用)

- 第1楽章 アレグロ・マ・ノ・トロppo・ウン・ポコ・マエストーソ  
第2楽章 モルト・ヴィヴァーチェ  
第3楽章 アダージョ・モルト・エ・カンタービレ  
第4楽章 プレスト〜アレグロ

指揮：三原 明人

ソプラノ：平安 克子

アルト：大国 和子

テノール：榊原 哲

バリトン：若林 浩

管弦楽：佐倉フィルハーモニー管弦楽団

合唱：佐倉第九市民合唱団

合唱指揮 若林 浩  
合唱基本指導 稲川明子  
永倉喜代子  
練習ピアニスト 天田文子  
徳富香恵

# プロフィール



指揮者

三原明人

Mihara Akihito

1961年東京生まれ。幼少よりヴァイオリン、ピアノ、作曲を学び、東京芸術大学で、ヴィオラを浅妻文樹、兎東俊之、桐朋学園で指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明各氏に師事。さらにゲンナジ・ロジエストヴェンスキー、カール・エステルライヒャー、ヴァーツラフ・ノイマンといった大指揮者に師事。1989年、「第2回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」で第2位、1996年「第8回リスボン国際青年指揮者コンクール」で1位なしの第3位となる。

1989/1990年にはウィーン・フィルのコンサートでレナード・バーンスタイン、1996年のベルリン・フィル来日公演でクラウディオ・アバドのアシスタントを務めた。1991/1992年には愛知県立芸術大学管弦楽団指揮者に就任。1995年6月にフィンランドのクオピオ市立管弦楽団とのベートーヴェン特別演奏会（第2、第9交響曲）は大好評を博した。1996年10月再び同管弦楽団の定期演奏会で、武満徹作品集とシベリウスの第2交響曲などを指揮。1997年にはフィンランド独立80周年記念公演でベートーヴェン第9交響曲を指揮した。海外では、他にオランダ、ドイツ、チェコ、スロバキア、スペイン、アメリカの著名な管弦楽団を指揮。日本では東京都響、読売日響、日本フィルなど主要管弦楽団の他、多くの管弦楽団を指揮しているわが国期待の指揮者。昨年の佐倉での第九演奏会も指揮。佐倉フィルハーモニーの育成にも協力を惜しまない。

ソプラノ  
平安克子

Katsuko Hirayasu



武蔵野音楽大学卒業後、モーツァルテウム音楽院に学ぶ。福井記念奨励賞、全日本童謡コンクールグランプリ受賞。第1回奏楽堂日本歌曲コンクール入賞。1991年、文化庁派遣在外芸術家研修員でドイツ、オーストリア、イタリアへ。1992、99年国際交流基金日本文化紹介派遣員としてフランス、ドイツ、ロシアで演奏。サンクトペテルブルグでの日本歌曲コンサートは大好評を博した。国内ではNHK教育テレビ、NHK FMリサイタル、日本テレビ等に出演。NHK交響楽団、東フィル等と共演。オペラ、歌曲、宗教曲等極めて幅広い分野の音楽作品を歌っている。

本年9月に佐倉市民音楽ホール委嘱作品オペラ「龍の雨」の千葉市公演を主催し、主役「アサ」を務めた。CDも多数出しており、「日本の歌 愛を歌う」「パッションナイト」は評判。現在、朝日カルチャーセンター、よみうり日本文化センターで声楽講師を務める。二期会会員。音学舎主宰。

アルト  
大国和子

Ohguni Kazuko



東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。NHK洋楽オーディション合格。NHK-FM午後のリサイタル、土曜リサイタル出演。東京文化会館オーディション合格。同推薦音楽会出演。第22回民音コンクール入選。28回ヴェルディ国際コンクール入選。オペラ「カルメン」「フィガロの結婚」「コシ・ファントゥッチ」「リゴレット」「ヘンゼルとグレーテル」等をはじめ、ヘンデル「メサイア」バッハ「ヨハネ受難曲」「カンタータ」モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」、ベートーヴェン「第九」、ヴェルディ「レクイエム」、マーラー「第3番」等のソリストとして出演。その他、ソロリサイタルをはじめ、数多くの演奏会に出演。またスペイン歌曲の研究、演奏にも力をいれている。「佐倉の第九」には昨年に続き出演。

テノール  
榊原 哲

Satoshi Sakakibara



東京芸術大学音楽部声楽科卒業。声楽を三林輝夫、布施隆治の各氏に、オラトリオ・エヴァンゲリストをプレーメン国立音楽大学教授 小松英典氏に、指揮法を伊藤栄一氏に師事。また、合唱を増田順平氏に師事。1983年、神奈川県芸術祭のオーディションに合格。山田一雄指揮によるベートーヴェン「第九」でソリストとしてデビュー。以後、NHK交響楽団、神奈川フィル、ニューフィル千葉をはじめ多くの管弦楽団や合唱団の演奏会に出演。バッハ「カンタータ」「マタイ受難曲」「ロ短調ミサ」、ハイドン「天地創造」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」「ミサ・ソレムニス」等多くのレパートリーを持つ。現在、オペラ、コンサートでソリストとして活躍中。多くの合唱団の指揮、指導もしている。広島エリザベト音楽大学講師。三輝会会員。日本合唱協会コンサートマスター。

バリトン  
若林 浩

Wakabayashi Hiroshi



県立佐倉高校から東京芸術大学音楽部声楽家を卒業。声楽を畑中良輔、竹沢嘉明の各氏に師事。指揮法を高階正光、高橋誠也の各氏に師事。1985年ウィーンに留学。マリア・S・ザウアー女史に師事。東京室内歌劇場公演「燃える炉」「脳死をこえて」をはじめ、バッハ「マタイ受難曲」「ロ短調ミサ」等、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」ベートーヴェン「第九」のソリストの他、多くのコンサートに出演。1989年千葉県教育会館、1997年習志野文化ホールでリサイタルを開催。京葉混声合唱団、習志野第九合唱団、四街道第九合唱団、浦安第九合唱団等で指導。第九指導者として高く評価されている。合唱団コールドリーム、浦安男声合唱団、成田楽友協会合唱団の常任指揮者。千葉県合唱連盟理事。「佐倉の第九」は昨年に続き出演。

# プログラムノート

ルードヴィッヒ・ヴァン・ベートーヴェン  
交響曲 第9番 二短調  
作品125「合唱付き」

余りにも有名な合唱付きの第9交響曲は、176年前、ベートーヴェンの晩年に作曲された。彼は、1810年頃から第9交響曲の作曲を考えていたが、1823年の夏、ウィーン郊外の保養地バーデンで大半を作曲し、1824年2月にウィーンで仕上げた。

ベートーヴェンは、彼が尊敬していた詩人シラーの讃歌「歓喜に寄す」を、彼の音楽作品の中で生かしたいと考えていたようだが、ついにこの第9交響曲の第4楽章で「合唱」という形で具現した。第1楽章から第3楽章、そして第4楽章「歓喜に寄す」を聴くと、シラーの讃歌の内容が深化し、ベートーヴェンの偉大さとこの作品の不滅性が浮かびあがってくる。

初演は、1824年5月7日、ウィーン・ケルントナートール劇場でベートーヴェン自身の指揮で行われた。大成功であった初演だが、耳の不自由なベートーヴェンには熱狂的な拍手が聞こえなかったと言われている。

※シラー(ヨハンクリストフフリードリッヒフォン・シラー)  
1759～1805年ゲーテとならぶ著名なドイツの劇作家・詩人

## 第1楽章 二短調

アレグロ・マ・ノン・トロppo・ウン・ポコ・マエストーソ

神秘的な響きで始まる序奏部分から、この交響曲の壮大さと劇的なものが感じられる。二短調の荘重で大きな固まりの第1主題は、力強く現れたり、悲愴感をもって現れたりするが、この主題はこの交響曲全体を支配していく。第2主題は、木管楽器が主に演奏し、弦楽器のスタッカート演奏であるが、やがて2つの主題が統

一されていく。

## 第2楽章 二短調

モルト・ヴィヴァーチェ

躍動的なリズムをもって、ティンパニーの力強い演奏で始まる。中間部は、穏やかで牧歌的なものだが、この楽章は第4楽章への橋渡しをしている。

## 第3楽章 変口長調

アダージョ・モルト・エ・カンタービレ

平安を祈っての瞑想的な感じの素晴らしい楽章。変口長調の4拍子の第1主題と二長調の3拍子の第2主題が、変奏しながら見事に交錯していく。

## 第4楽章 二短調

プレスト～アレグロ

交響曲の終楽章に声楽を加えた画期的な楽章だが、声楽(合唱)を一つの楽器ととらえた協奏曲のようだ。管弦楽による激しい序奏で始まり、低弦楽器による叙情的な流れののちに、「歓喜に寄す」の主題が現れてくる。ベートーヴェン自身の手による詩がバリトンで歌われ、続いて「歓喜に寄す」が合唱と4重唱で歌われる。この主題は、声楽と管弦楽で変化していく。

[解説 佐倉市合唱連盟理事長 馬場孝之]



Pasqualatibusにあるベートーヴェン像



「第九」の大半を作曲したバーデンの家（手前の家）

## An die Freude (第四楽章・歓喜に寄すより)

### バリトン独唱

おお、友よ、このような音でなく  
もっと快い、喜びに満ちた調べを  
歌おうではないか！（ベートーヴェン作詩）

### バリトン独唱・合唱

歓喜よ、神のような美しい響きよ、  
楽園の娘よ  
われらは熱情によいしれて  
あなたの天のような神殿に踏み入る！  
あなたの不可思議な力は、世の習いが  
厳しく切り離れたものを結びあわせ、  
あなたの優しい翼が憩うところ  
すべての人は兄弟になる。

### 四重唱・合唱

大いなる恵みを受けたもの  
真の友情を得たものよ、  
いとしい女性の愛を勝ち得たものよ、  
ともにあげよ喜びの声を！  
そうだ、たとえ人の心一つだけでも  
地上でわがものと呼びうる人もともに！  
これらのことができなかつたものは  
涙して、この仲間から去っていくがいい。

### 四重唱・合唱

すべて世にあるものは  
自然の胸から歓喜を飲み、  
すべての善人、すべての悪人は  
自然のぼらの小道を歩む。  
自然はわれらに口づけとぶどうを、  
死によっても隔てられぬ友を与えた。  
虫けらにも楽しみが与えられ  
天使ケルビムも神の前にたたずむ！

### テノール独唱・男声合唱

明るく、太陽が、  
壮大な天空の軌道を飛びいくように、  
喜び進め、兄弟よ、己の道を、  
英雄が勝利に向かって進みいくように。

### 合唱

抱き合おう、百万の人々よ！  
全世界にこの口づけを！  
兄弟よ、星空のかなたに、  
愛する父は住み給うのだ。  
ひざまずいたか、百万の人々よ？  
創造の主を感じられるか、世界の民よ？  
星空のかなたに主を求めよ！  
星の遙かに主は住み給うのだ。

# 佐倉フィルハーモニー管弦楽団

## 第1 ヴァイオリン

天本 幸江  
生田 美植  
河村 彩  
清水 俊子  
篠崎 恵子  
庄司 睦美  
中山 妙子  
城 みどり※  
伊藤 彰乃※  
高橋 雅英※  
橋本 美音子※  
山本 梨乃※

## 第2 ヴァイオリン

大塚 紀子  
大熊 裕幸  
片桐 智恵  
田中 正生  
畑 保子  
浅田 桂子※  
石田 朋子※

若林 佳水※  
渡部 博志※

## ヴィオラ

稲田 具貞  
白井 英子  
塚島 友佳子  
藤田 信子  
堀江 毎  
岡本 昭※  
斉藤 英恵※

## チェロ

久保田 宣孝  
立田 孝子  
大矢 真由美※  
川井 真由美※  
佐藤 万衣子※  
福田 夏絵※

## コントラバス

青江 宏明※

岡澤 亜希子※  
城 満太郎※  
山谷 明恵※

## フルート

植木 理絵  
大橋 さゆり  
山田 綾乃

## オーボエ

榎本 睦子  
榎本 百合絵  
山田 辰雄

## クラリネット

石鍋 豊和  
香月 佳世  
梨木 美知

## ファゴット

笹原 修  
大平 麻海子

水留 稔※

## ホルン

小林 昌樹  
阪本 薫子  
坂本 直樹  
清水 裕幸  
田中 裕子  
森川 博邦

## トランペット

佐々木 直人  
中山 秀嗣

## トロンボーン

阿部 博  
柴田 孝一  
村上 茂夫  
村上 真紀子

## パーカッション

新井田 久美子

若菜 真紀子  
岩上 晃※  
篠崎 美奈子※

※賛助出演

## コンサートミストレス

城 みどり

## 事務局長

坂本直樹



# 佐倉第九市民合唱団

## ◆ソプラノ

相野 栄子  
 稲川 明子  
 内田 正恵  
 鶴澤 登美子  
 大越 美智子  
 小野寺賀世子  
 蚊野 侑子  
 北野 直子  
 木村 祐子  
 楠 裕子  
 黒田 麗子  
 越川 節子  
 斉藤 光依  
 篠丸 郁子  
 清水 良美  
 鈴木 梨恵子  
 関 幸子  
 関 真由美  
 関 佳美  
 高橋 悦子  
 高橋 康子  
 棚橋 伊久子  
 千葉 栄子  
 永倉 喜代子  
 中道 睦子  
 浪川 弘子  
 西 照子  
 新田 千恵  
 弘山 孝子  
 福山 悦子  
 堀内 由紀子  
 本澤 葉留美  
 松本 秀子  
 養和 憲子  
 村上 光枝  
 守屋 和子  
 山崎 房子  
 吉永 恩実  
 吉村 昱子

## ◆アルト

秋山 美代子  
 筋 重子  
 石井 寿子  
 石渡 夏子  
 泉澤 福子  
 江口 みどり  
 大沢 君子  
 大谷 和子  
 岡本 静子  
 小川 恵子  
 勝田 治子  
 香山 和子  
 川上 由枝  
 木佐貫 肇子  
 木原 南海子  
 木部石 美子  
 桑島 時子  
 小西 美恵  
 小林 富子  
 小松 喜久子  
 佐藤 広子  
 柴田 静子  
 清水 きみ子  
 清水 摩耶子  
 鈴木 英津子  
 鈴木 景子  
 高橋 幸子  
 竹之下 得子  
 橋 美津江  
 田中 久子  
 坪井 貴代子  
 寺田 栄子  
 寺田 敏子  
 永倉 美々  
 中辻 紘子  
 中野 義子  
 浪川 正子  
 成尾 せき  
 成瀬 多恵子  
 丹羽 吏子

萩原 直美  
 長谷川美樹子  
 畑 礼子  
 服部 節子  
 平崎 慎喜  
 堀 チイ子  
 堀井 和子  
 三橋 三津枝  
 宮崎 春枝  
 本川 時子  
 矢野 昌子  
 矢野 光子  
 葭原 洋子  
 脇阪 一子

## ◆テノール

天野 昭二  
 漆原 幸二  
 兼島 信彦  
 川島 幸一  
 木佐貫 秀彌  
 木村 幸三郎  
 栗山 通  
 小林 勝  
 佐野 政吉  
 角谷 薫  
 橋 幹夫  
 田村 言行  
 檀谷 正彦  
 中川 政直  
 長竹 哲弘  
 中村 順  
 松原 靖行  
 安井 重徳  
 吉川 廣一  
 吉永 省作

## ◆バス

天田 祐之  
 池田 紘忠  
 伊東 元二郎  
 小城 健  
 川上 孝一  
 北沢 長夫  
 工藤 勲  
 熊野 義己  
 小島 利夫  
 三枝 茂  
 高松 久長  
 滝澤 孝一  
 武知 弘記  
 谷口 四郎  
 鳥井 和彦  
 中井 和男  
 野村 寛郎  
 蜂谷 芳雄  
 菱田 清勝  
 平山 直道  
 町田 裕雄  
 山中 誠

## 佐倉第九合唱団運営委員会

委員長： 田村 言行  
 副委員長： 饗場美智子  
 練習担当委員： 永倉喜代子  
 (パートリーダー) 大谷 和子  
 長竹 哲弘  
 滝澤 孝一  
 会計担当委員： 筋 重子  
 成瀬多恵子  
 庶務担当委員： 守屋 和子  
 監事： 畑 礼子  
 橋 美津子

## 「佐倉の第九」演奏会の継続に向けて

佐倉市民音楽ホール館長 新谷俊文

ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付」（通称第九）が佐倉市で初めて演奏されたのは、佐倉市民音楽ホールの開館15周年記念事業として、昨年12月19日のことでした。管弦楽団も合唱団も市民による「市民の第九」というかたちで行われた演奏は見事なもので、演奏者・聴衆に大きな感動を与えました。佐倉フィルの熱意に満ちた演奏と男性が集まるか心配した合唱団に多くの男性が参加されたことから、佐倉での「第九」演奏会に自信を持ち、継続することとしました。

演奏会の名称は「佐倉の第九」としました。演奏会の継続性を考慮し、サブタイトルをつけることとしました。これは、マンネリを避けるために様々な形で「第九」演奏会を行いたいということからです。合唱団は中学生まで拡大するかもしれませんが。時にはプロの合唱団や管弦楽団の演奏もあるでしょう。ヨーロッパで見られるように吹奏楽での演奏ということも考えられます。本日の第2回目は、初回同様、市民による第九ですので、サブタイトルは「第2回 市民の第九」演奏会としました。

演奏の質の高さを追求し、佐倉の独自性を出しつつ、多くの人々にベートーヴェンの第九の精神を理解していただければと思います。新春の佐倉ウィーン・ニューイヤーコンサートのように、恒例の演奏会となれば幸いです。

本日の演奏会にご協力をいただきました佐倉合唱連盟と佐倉市第九合唱運営委員のみなさんに感謝申し上げます。

協力：（財）八千代市文化振興財団